



文久癸亥三年

從八月十六日  
至九月廿日

第四卷

長洛日記 京都

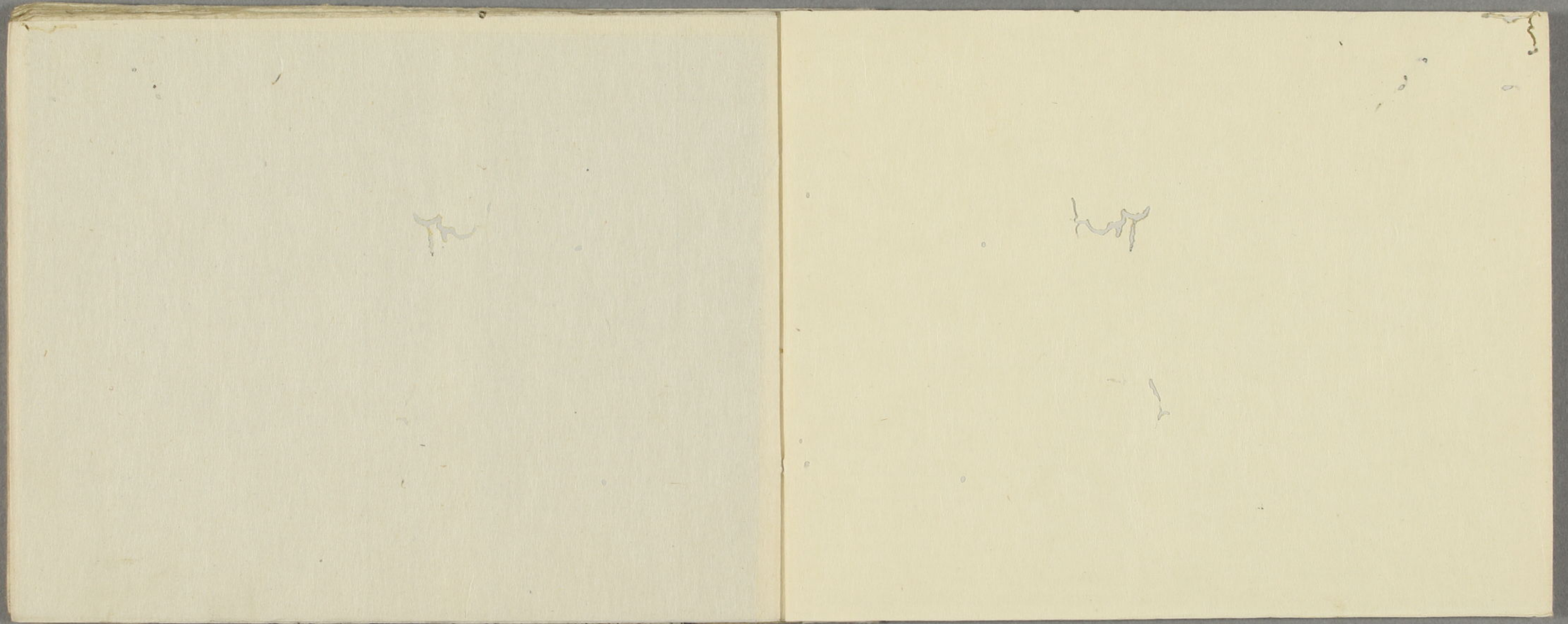
早稲田大学図書館

文書 27

A 5

4





文久癸亥

從八月廿六日

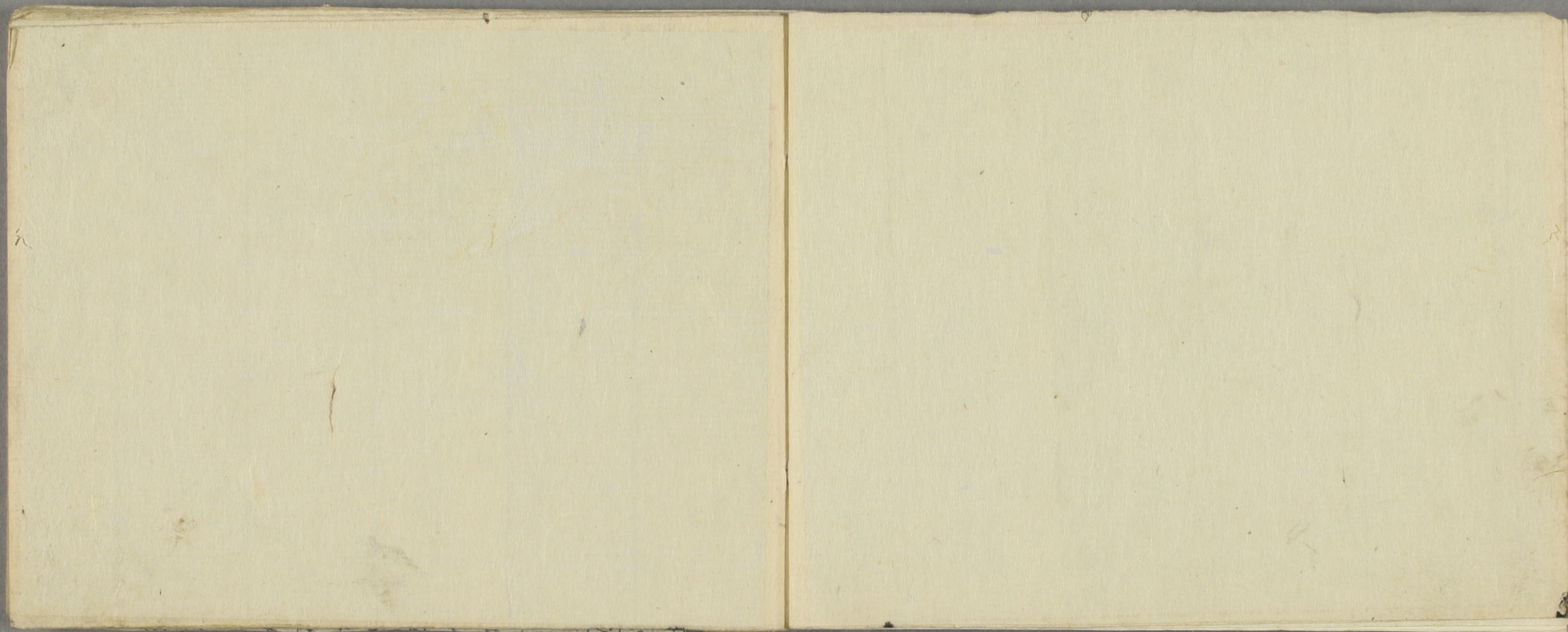
到九月三日

文久三年  
海  
家

京城日記

回天秘錄

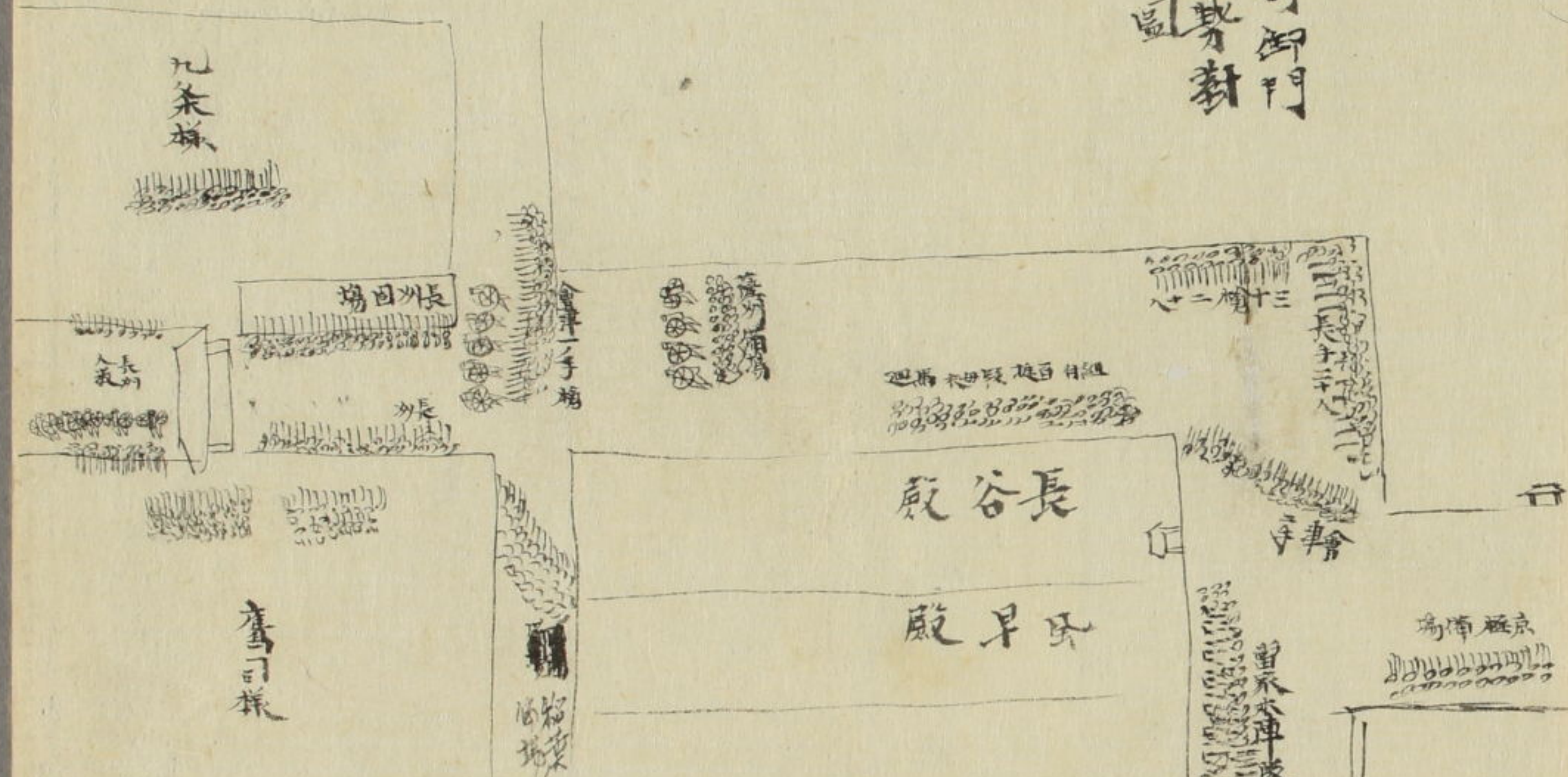
三部



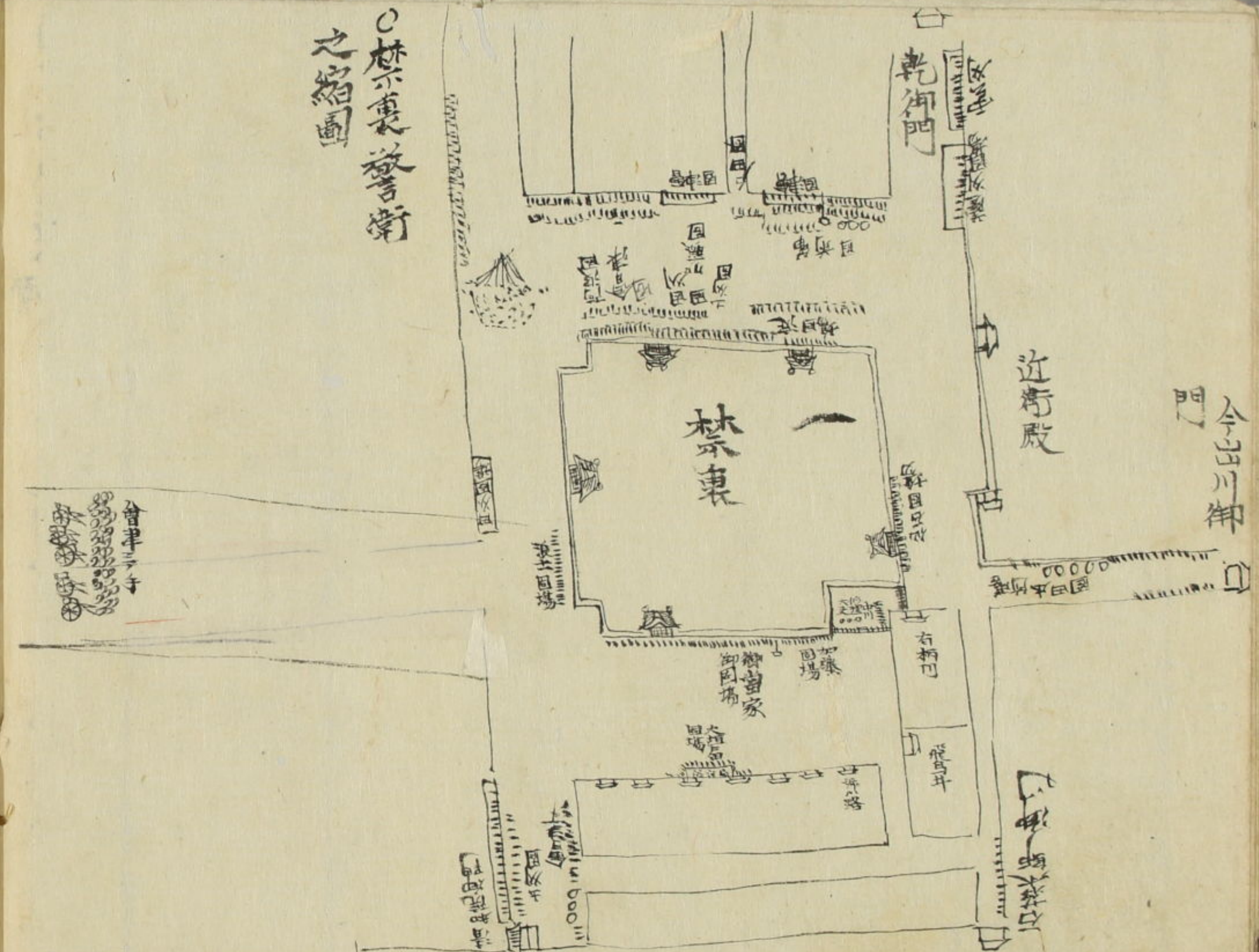




○城所御門  
長列勢新  
陣之圖



○禁裏警衛  
之宿圖









日再門口

一八人

一九人

得介

一役人

五馬路

一役內務股臣廻神内侍等

一役内務股臣廻神内侍等

春兼徳氣遠敷意上様夫 御親征之期未及到來以迄凡  
何れ 御親征之期未及到來以迄凡 行幸 幸多  
生 御意以奉 御親征機會今日不之過也 行幸  
控大和軍備之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
為御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
乃以上様御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
二味之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
一役内務股臣廻神内侍等

御意以奉 御親征機會今日不之過也 行幸  
控大和軍備之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
為御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
乃以上様御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
二味之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
一役内務股臣廻神内侍等

御意以奉 御親征機會今日不之過也 行幸  
控大和軍備之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
為御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
乃以上様御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
二味之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
一役内務股臣廻神内侍等

御意以奉 御親征機會今日不之過也 行幸  
控大和軍備之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
為御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
乃以上様御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
二味之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
一役内務股臣廻神内侍等

御意以奉 御親征機會今日不之過也 行幸  
控大和軍備之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
為御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
乃以上様御意之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
二味之旨為其厚意而為上様 取 以迄之  
一役内務股臣廻神内侍等



申着、或軍、落書、は、事、川、守、を、裁、り、て、以、て、其、の、事、を、宣、言、す、  
申、告、り、て、要、之、天、人、所、不、許、逆、賊、之、を、在、人、知、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、

一、長、州、の、人、數、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、

一、大、佛、の、門、守、り、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、

一、大、佛、の、門、守、り、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、

一、大、佛、の、門、守、り、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、て、其、の、人、數、を、計、し、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、  
其、内、一、部、は、居、居、中、の、河、川、に、一、部、は、一、部、は、中、門、を、守、る、事、也、







考各事... 一上... 四... 考... 考... 考...  
 考各事... 一上... 四... 考... 考... 考...  
 考各事... 一上... 四... 考... 考... 考...

在賊... 中... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 在賊... 中... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 在賊... 中... 山... 河... 延... 延... 延... 延...

一在... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 一在... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 一在... 山... 河... 延... 延... 延... 延...

一... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 一... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 一... 山... 河... 延... 延... 延... 延...

一本筒 但月六封... 十六... 六枚  
 一... 但月... 三... 三十一枚  
 一... 但月... 三... 九...  
 一... 但月... 三... 三枚  
 一... 但月... 三... 一...  
 一... 但月... 三... 五十六  
 一... 但月... 三... 一...  
 一... 但月... 三... 三枚  
 一... 但月... 三... 一...  
 一... 但月... 三... 三枚

大... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 大... 山... 河... 延... 延... 延... 延...  
 大... 山... 河... 延... 延... 延... 延...





外野の戦況  
後少将の房は屋敷に力加へて甲斐の土地を  
占領し、其の土地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

中川右衛門尉人、其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す  
房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

房は其の領地を以て其の領地と爲す  
八月廿九日、房は其の領地を以て其の領地と爲す

時六日  
得下... 親兵... 降...  
... 御... 御...

日七

一 張... 日七

日七

一 張... 日七

一 張... 日七

一 張... 日七

一 張... 日七

日七

一 張... 日七

一 張... 日七

日七

一 張... 日七

一 張... 日七

一 張... 日七

一 張... 日七

一 張... 日七

一、（一） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

一、（二） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

四、（三）

一、（四） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

一、（五） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

一、（六） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

一、（七） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

一、（八） 皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

皇朝之興，由漢之末，而魏之亂，而晉之衰，而唐之盛，而宋之衰，而元之興，而明之衰，而清之興，而後有今日之盛也。

神段岳

精神精神不

氣氣走走色

而措天下而措天下

泰山之安可泰山之安可

謂社稷謂社稷之重

公

公之人精忠節公之人精忠節

無餘暇東走西馳無餘暇東走西馳

奉天或遠奉天或遠瀕國

或八若根固或八若根固公早就

終終心心今日今日富貴富貴為為身

身身之之人人可可不不恃恃為為可

不恃不恃威

米藩  
言鳴書久

